

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	6-2
PDCA	主要事業名	情報公開・個人情報保護事務	部課名	総務部総務課	担当	246
					内線	横井
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 3 - 1 単位施策： 行政運営					
	全体事業期間： 令和 3年度 ~ 3年度 全体事業費等： 118 千円					
	会計 一般会計 歳出科目 02.01.12.12.01					
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： ー 千円					
	事業概要等	事業概要： 半田市情報公開条例の規定に基づき市民の知る権利を保障するとともに、半田市個人情報保護条例の規定に基づき個人の権利利益を保護する。また「半田市情報公開・個人情報保護審査会」の運営を行う。				
		事業目的： 条例等に基づき、行政の透明化を図るとともに、個人の権利利益を保護する。				
		事業内容： 条例等に基づき、行政文書の開示、自己情報の開示等を行う。また、必要時に「半田市情報公開・個人情報保護審査会」の運営を行う。				
		問題点・課題等： 大量な情報の請求や、特定の個人による度重なる請求への対応には時間的、労務的に苦慮している。個人情報管理は各課で責任を以て対処するが、継続した意識啓発は全庁的に必要である。				
	予算額	主要事業とする理由				
	118 千円	個人情報保護制度、情報公開制度は、市民の知る権利を保障するうえで、重要な制度となっているため。				
財源内訳	得られる成果					
市費	市民の知る権利を保障するとともに、個人の権利権益を保護することにつながる。					
118 千円	目標値や目指すべき状態					
国費	令和元年度 令和2年度 令和3年度 単位					
0 千円	個人情報等漏えい事故件数	実績値	1	0	ー	件
県費		目標値	0	0	0	
0 千円		実績値				
		目標値				
その他		実績値				
0 千円		目標値				
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果				
	118 千円	個人情報等漏えい事故は1件発生した。情報公開請求及び事故情報開示請求に対しては、適正かつ迅速に対応することができた。				
		成果指標				
		令和3年度	単位			
	個人情報等漏えい事故件数	実績値	1	件		
		目標値	0	件		
C 課題の整理	事業の評価・課題	D				
		目標0件に対し、数年に一度1件を数え、0件は継続していない。令和4年2月に個人情報の漏えい事故を二度と発生させないよう、全職員に対して個人情報の取扱いに係るWeb研修を実施し、法制度の理解及び意識の向上を図った。情報公開請求等については、担当課と総務課が連携して、迅速に対応をはかった。				
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性	改善推進				
		行政情報を適正に管理し、個人の権利権益を保護する個人情報保護制度及び、市民の知る権利を保障する情報公開制度の適切な運用を図る。全庁的に個人情報の取扱方法の機器の保管状況等等を各課で自己点検するほか、特定個人情報については外部監査人による監査を実施し、全職員が個人情報漏えい事故への危機意識を高められるよう研修を継続的に実施していく。				
	観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	小さい	⑦コスト	ない
	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	削減余地	※対象・手段の変更
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない

目標項目（予算計上時に作成）
予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用